

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
富士山のふもとでくらす人々の生活		第2章 P. 23	
教科（領域）等	総合的な学習の時間	学年（分野）	4年生～6年生

### 1. 教材のねらいと概要

富士山のふもとでくらす人々の生活の特色を知る。  
 ・富士山のふもとでくらす様子や地域の特色を、衣食住の視点から掲載している。

### 2. 活用例

教科名等	総合的な学習の時間	単元(題材)名等	わたしたちのふるさと(仮)
活用場面		活用のポイント	
ふるさとに関心を深めるための手立てとして、富士山のふもとの生活の特色を調べる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を見ながら、ふもとの生活の特色を調べる。</li> <li>・キャラクターの投げかけに対して、資料を基に考察する。</li> </ul>	
			時間 20～50分 (家庭学習を含む)

### 3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 23 	木でできたこの機械で何を作るのかな？	児童の生活経験から思ったことを発表させ、富士山のふもとの生活と織物との関係について知る。	この機械は機織機。布を織るもの。この地域の人々は農業を補う生産手段として織物を始めた。機織が記録にあらわれるのは江戸時代初期。この地域を治めていた秋元氏によって織物の生産が奨励され発展していった。
P. 23 	15ページで紹介されている御師の家は、こんなにたくさんあるんだ！	なぜこの一帯に、御師の家が建ち並んだのか興味をもたせ、ふもとのまちの歴史について調べられるようにする。	富士山に登拝する人たちの案内や世話をする人たちを「御師」と呼び、登拝する人達が宿泊する家を「御師の家」と言う。昔は御師の家が80軒以上あり、ふもとのまちは、富士道者で賑わった。富士浅間神社に近く、富士山の融雪洪水を避けられる場所だったために古吉田から現在の地に移転した。
P. 23 	どんな時に着る服なのかな？15ページで読んだ富士山をお参りする人たちが着ていたのかな？	なぜ白い服なのか、また誰が着るのかを知る。	「富士山」を霊山として信仰している人たちは富士講といい、写真のような白い服装を着用し登っていた。衣服には朱印があるものや修行の免許が縫い付けてあるものもある。富士山は、昔から霊山は「神聖な山」として人々に愛されてきた。そのため、登山者はけがれのない白い服がふさわしいとされてきた。
P. 23 	うどんは全国どこにもあるけど、このうどんはどんな特徴があるのかな？	「なぜ富士吉田にうどんがあるのか」ということや「吉田のうどん」の特徴である、こしがあることや肉は馬肉を使っていることが多いことに着目させ、調べられるようにする。	織物が富士吉田で発展し、機織で手が離せない女性に代わって、男性がうどんを打ったおかげで、こしのある独特の食感がうまれた。富士吉田に馬肉を食べる文化があり、安くて入手しやすかったため。現在では牛肉や豚肉を使ったお店もある。
P. 23 	富士山を大切に思ってきたふもとのまちの人々の生活や文化について調べてみましょう。	富士山のふもとの生活に興味を持ち、調べていくきっかけとする。	略

### 4. 写真・資料の補説

#### (1) 御師家の街並み（絵）

富士吉田の金鳥居通りから、真正面に富士山が位置していることに留意させたい。

#### (2) 機織機

これらの機械で作られていた織物は関東平野周辺の山麓で発展する他の織物との差別化を図るために様々な技術を磨き、高級織物として知られるようになっていった。

### 5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・編者	発行年
おしさんぼ経路地図	富士吉田観光振興サービス	富士吉田観光振興サービス	
御師 旧外川家住宅	ふじさんミュージアム	ふじさんミュージアム	
関連施設名	住所	電話	
御師 旧外川家住宅	山梨県富士吉田市上吉田3丁目14-8	0555-22-1101	
ふじさんミュージアム	山梨県富士吉田市上吉田2288-1	0555-24-2411	